

ディボーション質問表



エゼキエル書は、1～24章はエルサレム包囲前、25～32章はエルサレム包囲中、33～48章はエルサレム陥落後の出来事と預言について記されています。

4日(月) エゼキエル書 5：1～17節 エルサレム滅亡の預言

5章は、4章で表現された象徴的預言行動の説明です。

1. 4章の解き明かしはどのようなものですか？ その斬新な行動と強烈な裁きのメッセージを見聞きした民はどう思ったでしょうか？
2. この章を通して悔い改めるべき生活は何かありましたか？

5日(火) エゼキエル書 6：1～14節 偶像崇拜に対する審判

6～7章で神様は言葉をもって終末的審判を述べられます。

1. 神様は人々のどのような行動に対して裁くと言われていましたか？ 裁きから逃れる者たちを神様は赦されます。彼らは神様が何を裁いたことを思い出すと言われていましたか(9節)？
2. この章には、「主であることを知ろう」というフレーズが4回出てきます。その言葉を鍵としてこの章を読みなおしてみましょう。

6日(水) エゼキエル書 7：1～13節 終局が近づいたとの警告1

1. 1～7節を読んで、いつ世の終わりが来るように思いましたか？ →私はいつも再臨と復活の日を覚えて生活しているのでしょうか？ 日常生活で麻痺した無意味な生活を送っていないのでしょうか？
2. この章にも3回、「主であることを知ろう」というフレーズが出てきます。それはどのようなときででしょうか？

7日(木) エゼキエル書 7：14～27節 終局が近づいたとの警告2

1. 7章は3つの短いメッセージ(2～4、5～9、10～13節)と、それらに共通するテーマの説明(14～27節)があります。これらのメッセージは「終わりが来た」(2節)、「わざわいが来る」(5節)、「その日が来る」(10節)といった同じような言葉で始まっています。今日の箇所ではどのような説明になっていますか？
2. 今高価なものは最後にはどうなる、と語っていますか(19～27節)？ 彼らは神様を敬う礼拝をしていましたか？ 自己満足的な自分の繁栄を見せびらかす礼拝をしていましたか？

8日(金) エゼキエル書 8：1～18節 神殿での偶像礼拝の幻

1. 偶像崇拜に対する神の憤りが描かれています。しかし、偶像礼拝は今も人間が犯しやすい罪です。この章から、偶像礼拝の罪にはどんな特徴があると思われますか？
2. 17節から、偶像礼拝に対する人の意識と神の意識との差がわかります。自分たちの心に同じようなところが何かありますか？ もしあれば、悔い改め、自分たちの心の中心にいます創造の神を礼拝しましょう。

9日(土) エゼキエル書 9：1～11節 エルサレムを処罰する者の幻

1. 神の裁きはどこから始まっていますか？ そのことから何か示されたことはありますか？
2. この裁きの厳しさをとおして、神のどんな性質を見ることができますか？ また、偶像礼拝を過小評価し、不用意に妥協してしまっているところは何かありませんか？
3. 文化という隠れ蓑に入った偶像礼拝、流行という衣服を身にまとった偶像礼拝にごまかされていないか、自分自身を吟味してみましょう。

***今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**